

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 25 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 津野・西岡・常德・永森・武久・岩井・中村・北村・岩崎 (内 8 名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	4 人	0 人	0 人	9 人

前回の改善計画  
勤務前後に申し送りノートを確認する。(2 回/日) 情報の更新があった際に把握が遅れないために。

前回の改善計画に対する取組み結果  
個々のタイミングではあるが、申し送りノートの確認を徹底し、特に休日明けの勤務前には情報の把握に取り組むことが出来ていた。新たに習得した情報を逃さずに報告・連絡する事に取り組む、些細なことでも皆が知っている状態を作れるように取り組んでいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	6	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	5	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	5	1	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
更新された情報を確認し、共有出来ている。  
利用開始前の事前情報を頭に入れたうえで、新しく習得した内容もその都度申し送りノートを活用して共有出来ている。  
利用開始から 1 か月間は本人との関係性づくりにしっかり取り組んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
本人や家族との関係性づくりに努めてはいるが、十分な配慮が出来ているとは言えない。  
限られた業務時間の中で、関わるための時間が短く、家族との関係性づくりがなかなか進行できない場合があった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
利用開始からの 1 カ月は、家族 (介護者) への関わりを意識して取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 25 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	4 人	0 人	9 人

前回の改善計画	その人がどういう暮らしをしたいのかをモニタリングの際に話し合ってみる。
前回の改善計画に対する取組み結果	介助の方法や内容の妥当性、支援内容についての話し合いは行えるが、目標への評価にとどまり、本人の暮らしにまで議論が至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	2	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	2	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	2	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	5	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>当面の目標に対する支援を行うことができ、モニタリングにより定期的に本人の目標を再確認することができたうえで、ケアを実施することが出来ている。</p> <p>ケアの中で気づいたことは、モニタリングの時だけではなくその都度発言出来ており、早期の対応を話し合うことが出来ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>認知症の利用者の場合、目標について直接本人からうかがうことが難しく、正確に把握する事が出来ない。</p> <p>本人からはうかがえないと決めつけて、自身の目標についてうかがうことが出来ていない。</p> <p>家族の考えや希望を踏まえて「こうであろう」と予測する場合が多く、関りに自信が持てないことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
定期的に (モニタリングのタイミングで) 暮らしの目標を本人に確認することに挑戦する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 25 日 (17:30 ~ 18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	3人	0人	9人

前回の改善計画	個別ケアのタイミングで本人との会話を大事にし、一人一人との関わりを深めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	入浴や送迎等の個別ケアの時間を使って、それぞれの利用者に応じたコミュニケーション方法で取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	6	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	5	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	3	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	8	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調の変化時には早期発見出来ていることが多い。気持ちの変化や心的心声を察知して、その都度変化に応じた支援が行えている。それをスタッフで共有出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の状況、状態に合わせた介助方法でケアを実施しているが、果たしてそれが本人のニーズなのか? 良かれと思って実践している事でも実際に本人が希望している事ではない場合もある。 自宅の生活環境を把握できない事例がある。 個別対応は出来ていても、関わりを深めていく時間が持てない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 生活歴や経過を把握できるような関わりを実践して、日常生活の支援につなげる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 25 日 (17 : 30~18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	5 人	2 人	9 人

前回の改善計画	本人と地域の関わりについて情報収集に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	主にはケアマネージャーが行う業務内容でありケアマネージャーは取り組んでいるが、現場の介護スタッフが取り組むには、スキルや時間が不足している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	1	2	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	2	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	7	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	6	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること サービスを提供するうえで最低限の必要な情報をまず把握し、地域との関係性や家族、親族との関係性に関する情報を徐々に収集する事が出来ている。(CM)
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人との関係性が深い相手がいない場合 (独居で親族が疎遠であったり、いない) 情報を掴むことが出来ない。 個人情報に関することであり、地域に対してアプローチするスキルがない。(CM以外) 民生委員や地域資源を把握する方法がわからない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 自身の住む地域の民生委員を把握する。 「民生委員」について勉強する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 25 日 (17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	0人	2人	7人	9人

前回の改善計画	利用者それぞれの地域の資源や、ケアに活用できる場があるかどうか、勉強会を実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会は実施していない。地域資源を支援に活用することがなく、必要性を感じなかったため、積極的に取組みが行えなかった。

◆今日の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	5	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	7	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	8	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ニーズに応じたサービス内容の提供が来ている。緊急時や所用時、悪天候等によるサービス調整も行えている。些細な変化への気づきもスタッフ間で共有する事が来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源の把握が出来ていない。その必要性を感じていない。 ケアマネジャー以外の職種は地域資源に関わりを持つ機会が持てない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事業所近辺で支援に活用できる地域資源を新たに探し活用してみる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 2 月 25 日 (17 : 30~18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	2	1人	4人	9

前回の改善計画  
参加経験がない職員が、会議や地域の活動に参加する機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果  
地域の清掃活動に参加するよう呼びかけ、前年より参加者が増えた。  
運営推進会議にスタッフが順番に参加できるようシフト調整したことで経験できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	2	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	1	6	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	3	4	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	4	2	3	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
地域の祭りごとや防災・避難訓練に参加できている。  
楠目小学校の児童から触れ合い学習の提案をいただき、事業所に児童が来て、交流会を開催することが出来た。  
少しずつではあるが、参加経験がないスタッフの参加を増やすことが出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
多職種との会議の場には、ケアマネージャー以外のスタッフがなかなか参加できていない。マンパワー不足にて現場から離れて参加することが難しい状況が続いている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
会議や、地域の活動への参加人数を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月25日(17:30~18:30)

7. 運営

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	4人	2人	9人

前回の改善計画	事業所の運営状況についてすべての職員が把握できる機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議の資料、議事録等をスタッフが毎回確認することで、運営状況の把握に取り組んだが、業務に追われて時間がなく、全部を確認することが出来ていない状況。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	1	6	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	0	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	4	0	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	1	4	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
外部から頂いた意見に個人で対応する事はないが、事業所としてより良い運営状況を作る対応は出来ている。 各種対策委員会の開催や、BCP訓練、研修を実施し、内容を周知する事が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スタッフが運営状況を把握できていない。資料や議事録を読む時間が作れないので、月1回の職員会議の中で口頭にて運営状況を報告することにした。 事業所に対する気付きや意見を発言する機会がない。発言出来ていない。 地域との協働した取り組みを検討する事が出来なかった。 BCPの内容がまだ不十分であり、使いやすい状態ではないので、訓練や研修を繰り返して見直しを図って強化していく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スタッフ一人一人が事業所の運営に関わっていることを自覚し、登録者数や利用状況を説明できるように把握する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年2月25日(17:30～18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	5人	1人	9人

前回の改善計画	会議の際には必ず自分の意見を発表し、議題の解決につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	自分の考えを発言することが毎回できていなかった。 議題の解決に全員で取り組むことが出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	2	1	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7	1	0	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	0	8	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	2	2	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 毎月の社内研修(スキルアップ研修)にて介護技術や知識の向上、再確認ができている。 シフト調整や研修への呼びかけを行い、外部研修にも出来るだけ参加している。 災害BCP研修参加2名。地域勉強会参加2名。 介護福祉士の資格取得者2名。実践者研修参加者1名。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 少人数でのディスカッションは出来るが、全員参加の会議の中では発言者や発言回数が少ない。 自信を持って、意見を伝えることが出来ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 多数の中で自信を持って発言できるようになる為に、今後も自身のスキルアップ向上に取り組む。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 2月 25日 (17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	1人	0人	9人

前回の改善計画	行動を制止する際には理由を伝え、了解を得るよう心がける。 成年後見制度についての勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	立ち上がりや移動、その他の動作を待つていただく機会が多くあるが、意識して「～なので待つてください」「あと～分待つてください」等伝える事が出来た。咄嗟の行動には伝えられなかった場合がある。 成年後見制度についての勉強会を実施し、スキルアップにつながった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	4	0	0	9
②	虐待は行われていない	7	2	0	0	9
③	プライバシーが守られている	2	4	3	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	1	2	0	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	6	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
これまで積極的に向き合えなかった成年後見制度の概要を理解する事が出来たので、必要な場合に助言することが出来るようになった。 日中は玄関扉を常にオープンにして自由に出入りできる状態で、離脱予防のために見守りを強化している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
必要があつての事ではあるが、トイレのドアを開けた状態で排泄介助を行う場合の配慮が不足している。 利用者の前で、個人名を出して情報交換をしてしまつたり、他の人に聞こえる声量で会話してしまうことがあり、プライバシーの保護への配慮が不足している。 個人記録やバイタル記録等を誰でも手に取れる場所に置きっぱなしにしていることがあり、注意が必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
介助や情報交換の際のプライバシー保護への配慮を意識する。	